

1 単元名 【E球技】ア「ゴール型」サッカー

2 単元の目標

- ルールやマナー，フェアなプレイを守ることができるようにする。また，練習やゲームの進行などで自己の責任を果たすことができるようにする。さらに，練習やゲームに自主的に取り組み，技能ポイントの評価や作戦などの話合いに貢献することができるようにする。（運動への関心・意欲・態度）
- 技能ポイントから自己や相手チームに応じた技能や作戦を選ぶことができるようにする。また，仲間に対して技能ポイントの課題や有効な解決方法を見付けることができるようにする。（運動についての思考・判断）
- 基本的なパスや走り込む動きができるようにする。また，技能ポイントの課題に応じてパスや走り込む動きができるようにする。（運動の技能）
- 球技の特性や練習，ゲームの進行などを理解して，例を挙げるができるようにする。また，技能ポイントを理解し，仲間と言ったり資料に書いたりして示すことができるようにする。（運動についての知識・理解）

3 指導にあたって（男子43人，女子49人，計92人）

今日，体育・保健体育科では，生涯を通じて運動に親しむ基礎となる運動の知識や技能の習得が課題とされている。特に，中学校段階では，マイスポーツの獲得を目指し，運動の知識や技能を習得することが求められている。中学校学習指導要領解説保健体育編（平成20年9月）では，第3学年の体育分野の目標について，「運動の合理的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを味わうとともに，知識や技能を高め，生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。」と示されている。また，解説の内容E「球技」におけるゴール型の目標では，「ゴール前への侵入などから攻防を展開すること」が求められている。これらのことから，ゴール前へのパスや走り込む動きを理解し，技能を身に付けて活用する必要があると考える。

本校におけるこれまでのサッカーの指導では，動き方をまとめた学習カードを提示し，繰り返し練習することで，知識や技能の習得を目指してきた。しかし，球技に関する意識調査（平成24年9月27日実施，第3学年92人）を行ったところ，ゴール前へのパスについてうまくできないと答えた生徒が48人であった。さらに，走り込む動きについても，うまくできないと答えた生徒が55人であった。また，教師の観察から，ボール操作が未熟なためゴール前へのパスができない生徒や，相手に守られゴール前へ走り込む適切なコース取りができない生徒が見受けられた。このような実態から，ゴール前へのパスの仕方と走り込む動き方の理解や，ゴール前へのパスや走り込む動きの習得が課題であることが明らかとなった。その原因として，動きを視覚的に捉えて，技能の向上に生かす学習資料の活用が足りなかったと考えられる。また，ゴール前の攻防を練習してゲームに生かす活動も不十分であった。

そこで，本単元では，中学校第3学年「サッカー」において，ゴール前へのパスや走り込む動きを示した技能ポイント資料を活用することで，運動の知識や技能の習得を図ることができるのではないかと考えた。まず，学習の導入として，技能ポイント資料を活用して，ゴール前へのパスや走り込む動きを理解させる。次に，技能ポイント資料から，生徒の実態に応じた場面を取り出して練習に取り組みせ，ゲームに生かす。さらに，技能ポイントの視点で評価し，振り返らせることで，動きの改善につなげ，次なる課題を明確にさせる。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

| 運動への関心・意欲・態度 | 運動についての思考・判断 | 運動の技能 | 運動についての知識・理解 |
|--|---|---|--|
| ①ルールやマナー，フェアなプレイを◎ <u>常に</u> 守ろうとしている。 ②練習やゲームの進行などで自己の責任を◎ <u>常に</u> 果たそうとしている。 ③練習やゲームに自主的に取り組み，技能ポイントの評価や作戦などの話合いに◎ <u>常に</u> 貢献しようとしている。 | ①技能ポイントから自己や相手チームに応じた技能や作戦を◎ <u>的確に</u> 選んでいる。 ②仲間に対して技能ポイントの課題や有効な解決方法を◎ <u>的確に</u> 見付けている。 | ①基本的なパスや走り込む動きが◎ <u>安定して</u> できる。 ②技能ポイントの課題に応じてパスや走り込む動きが◎ <u>安定して</u> できる。 | ①球技の特性や練習，ゲームの進行などを理解して，◎ <u>具体的に</u> 例を挙げている。 ②技能ポイントを理解し，仲間に言ったり資料に書いたりして◎ <u>具体的に</u> 示している。 |

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価の計画（11時間扱い）

| 段階 | 時 | 主なねらい・学習活動 | 評価計画 | | | |
|-----|-----|--|---------------------------------|---|---|---|
| | | | 関 | 思 | 技 | 知 |
| はじめ | 1 | 1 学習の道筋を理解する。 ・オリエンテーション資料で学習の見通しを持つ。 2 試しのゲームを行う。 | ① | | | ① |
| なかⅠ | 2 | ゴール前へのパスや走り込む動きを理解してゲームに生かそう | ② | | ① | |
| | 3 | 1 整列，あいさつをする。 2 本時のねらいを確認する。 | | | ① | |
| | 4 | 3 準備運動をする。 4 技能ポイント練習を行う。 | | ① | | ② |
| | 5 | 5 ミニコートゲームを行う。 6 整理運動をする。 | | | ② | |
| | 6 | 7 本時の学習活動の反省と次時の課題を確認する。 8 整列，あいさつをする。 | | | ② | ② |
| | なかⅡ | 7 | 作戦に応じたゴール前へのパスや走り込む動きをゲームで活用しよう | ③ | | |
| 8 | | 1 整列，あいさつをする。 2 本時のねらいを確認する。 | | ② | | |
| 9 | | 3 準備運動をする。 4 技能ポイント練習を行う。 5 オールコートゲームを行う。 | | | ② | |
| 10 | | 6 整理運動をする。 7 本時の学習活動の反省と次時の課題を確認する。 8 整列，あいさつをする。 | | | ② | |
| まとめ | | 11 1 まとめのゲームを行う。 2 単元の振り返りを行う。 ・学習の成果について単元全体を振り返る。 | | ② | | |

6 本時の指導（6／11時間）

(1) 本時のねらい

- 技能ポイントの課題に応じてパスや走り込む動きができる。
(運動の技能)
- 技能ポイントを理解し、仲間と言ったり資料に書いたりして示している。
(運動についての知識・理解)

(2) 準備・資料

ミニゴール，ボール，ゼッケン，カラーコーン，技能ポイント資料

(3) 展開

| 時間 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点 | 評価の観点・方法 |
|------------|---|--|--|
| はじめ 10分 | 1 整列，あいさつをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・拡大した単元計画を示し説明する。 | |
| | 2 本時のねらいを確認する。 | | |
| | ゴール前へのパスや走り込む動きを理解してゲームに生かそう | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・技能ポイント場面シートへの記入を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントの視点を明確につかませる。 | |
| なか 30分 | 3 準備運動をする。 ・グループごとに技能ポイントに関する基礎運動を行う。 4 技能ポイント練習を行う。 ・男女別に課題を取り出した練習を行う。 5 ミニゲームを行う。 ・前半を行う。 (後半のグループはペア分析) <ルール> ◇ゴールキーパーはなし ◇タッチラインをボールが出たらキックイン ◇コーナーキックはあり ・技能ポイント評価を行う。 ◇パスの改善点は？ ◇走り込む動きの改善点は？ ◇ボールや相手の守り方は？ ・後半を行う。 (前半のグループはペア分析) | <ul style="list-style-type: none"> ・場や用具の安全に気を付ける。 ・技能ポイントに気付くように手本を示して説明する。 ・後半のグループにはペア分析の視点を明確にして取り組ませる。 ◇積極的でない生徒には、技能ポイントを伝え具体的な動きを指示する。 ・技能ポイントを視点到にチームやペアの評価ができるように助言する。 ・前半のグループには課題や作戦について仲間へのアドバイスを促す。 | <運動の技能②> ・技能ポイントの課題に応じてパスや走り込む動きができる。 (観察，ビデオ記録，ペア分析) |
| まとめ 10分 | 6 整理運動をする。 7 本時の学習活動の反省と次時の課題を確認する。 ・技能ポイント振り返りカードへの記入を行う。 8 整列，あいさつをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・活動時の生徒のよさを称賛し，コート図を活用して指導助言を行う。 | <知識・理解②> ・技能ポイントを理解し，仲間と言ったり資料に書いたりして示している。 (観察，シート，カード) |

◇は努力を要する状況にある生徒への手立て